



**ALL CORE. MAKE MORE.**

## BASIC LINE

10 色相

キラテラカラー 1 剤 100g 医薬部外品・染毛剤

色相・明度・彩度の広い表現幅でアンダーを狙った色に描き変えるアルカリカラーライン。

ブラウン系～モトーン系の5色相、彩度系5色相の計10色相で構成された KIRATERA のメインゾーン。



## ON COLOUR LINE

13 色相

キラテラカラー 1 剤 100g 医薬部外品・染毛剤

ハイトーン、オンカラー用の低アルカリカラー1剤。  
ピビッド～パール～ダークまでブリーチ毛を幅広く描き変える色相ライン。

BASIC LINE と重複する色味 (DG・JP・FP・DO・CB・CG) は、ブリーチアンダーにムラがある場合は BASIC LINE、ムラが少なく整ったアンダーの場合は ON COLOUR LINE を使用し、使い分けが可能。



キラテラカラー クリア 400g 医薬部外品

染料配合無しでピュアに薄めることが可能なアルカリクリア。  
400g の大容量パウチタイプで操作性も良好。



## KIRATERA OXY

キラテラ オキシ 2 剤 2000mL 医薬部外品

キラテラ オキシ2 [既染部用]  
ブリーチアンダーやダメージ箇所へのオンカラーやトーンダウン用。

キラテラ オキシ6 [新生部用]  
髪を明るくしながらカラーリングする際のトーンアップ用。

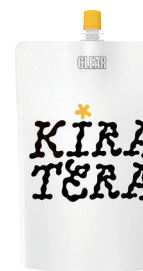


## ACCENT LINE

8 色相

塩基性カラー 400g 化粧品・染毛料

アルカリカラーだけでは表現できない高彩度発色が可能。  
BASIC LINE との相性も良く、ヘアカラー提案の幅が広がる塩基性カラー。



キラテラ クリア 1000g 化粧品・ヘアトリートメント

ハイトーン領域で髪をケアしながら塩基性カラーのパール表現を可能にするヘアトリートメントタイプの塩基性用クリア。

## CUP & BRUSH

キラテラ カラーカップ  
キラテラ カラーブラシ

操作性とデザイン性に拘った大容量カラーカップ&カラーブラシ。



## BASIC LINE & ON COLOUR LINE

医薬部外品・染毛剤

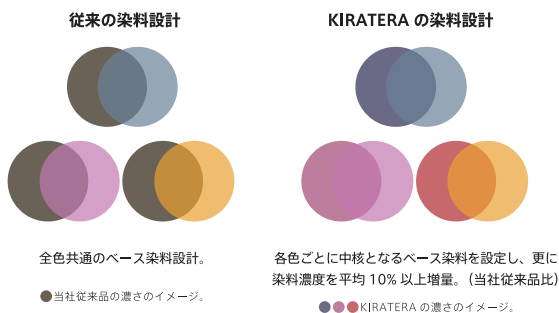
### アンダーを描き変える\* 強烈発色 & 高濃度設計

\*描き変える=残留ティントに左右されにくい。

#### 強烈発色 & 高濃度設計を実現する Core Shade 処方

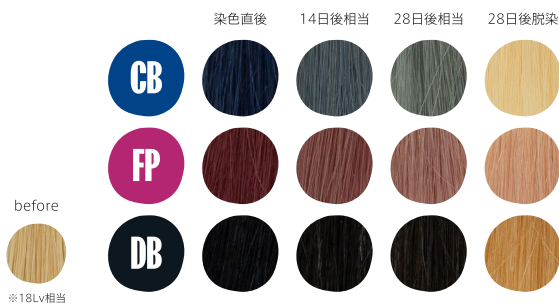
様々なアンダーを描き変える Core Shade 処方採用。

敢えて全色共通のベース染料を設けずに、各色ごとに中核となるベース染料を設定。各アンダーに対して最大限の発色パフォーマンスが発揮できるように各色の彩度系の染料濃度を増量し、アンダーを描き変える強烈発色 & 高濃度設計を実現しました。



#### 残留コントロールへのこだわり

KIRATERAはカラーチェンジのしやすさを追求し、カラー褪色後の残留の剥がしやすさにこだわりました。脱染剤の使用で残留ティントを無理なく剥がせて、次のカラー表現をさらにスムーズにします。



#### ブリーチ力を抑えながら高発色

ハイトーンアンダーに対して、ブリーチ力を抑えながら発色させたい時にご使用ください。ビビッドな発色からペールトーン～ダークトーンまで幅広い発色の LINE UP によって、多彩なヘアカラー表現が可能になります。



#### 残留アルカリを抑えるローアルカリ処方

##### 全レベル共通OXY2倍設計

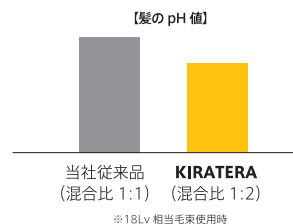
1剤と2剤の混合比率に着目し、すべてのレベルの1剤と2剤の混合比率を「1:2」で統一して使用できる処方設計を採用しました。1剤と2剤を組み合わせることで、使用時のアルカリ量と髪の残留アルカリ (pH) の低減を実現しました。

##### KIRATERA オキシ設計によるコスト

	容量	価格	g単価
1剤	100g	¥850	¥8.5
2剤	2000mL	¥2000	¥1

1剤2剤 1:2 混合時の g 単価 **¥3.5**

##### KIRATERA ローアルカリ OXY 設計による残留アルカリの違い



## ACCENT LINE

化粧品・染毛料

### 単品使用やアルカリカラーとの併用で広がる高彩度発色

#### ネオングロスコート処方で 蛍光感のある高彩度発色

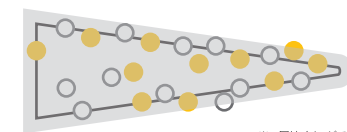
KIRATERA ACCENT LINEは、BASIC LINE及びON COLOUR LINEと同様に染料濃度を調整し、蛍光感のある発色を実現しました。更にネオングロスコート成分\*1を配合し、pHを中性付近に設定したことで最適な発色を目指しました。



#### W カチオンベース処方

2種の異なるカチオン界面活性剤\*3を使用したトリートメントタイプのベース処方採用。ブリーチ毛への施術時の引っ掛かりを少なくし、滑らかな質感に仕上げることを追求しました。

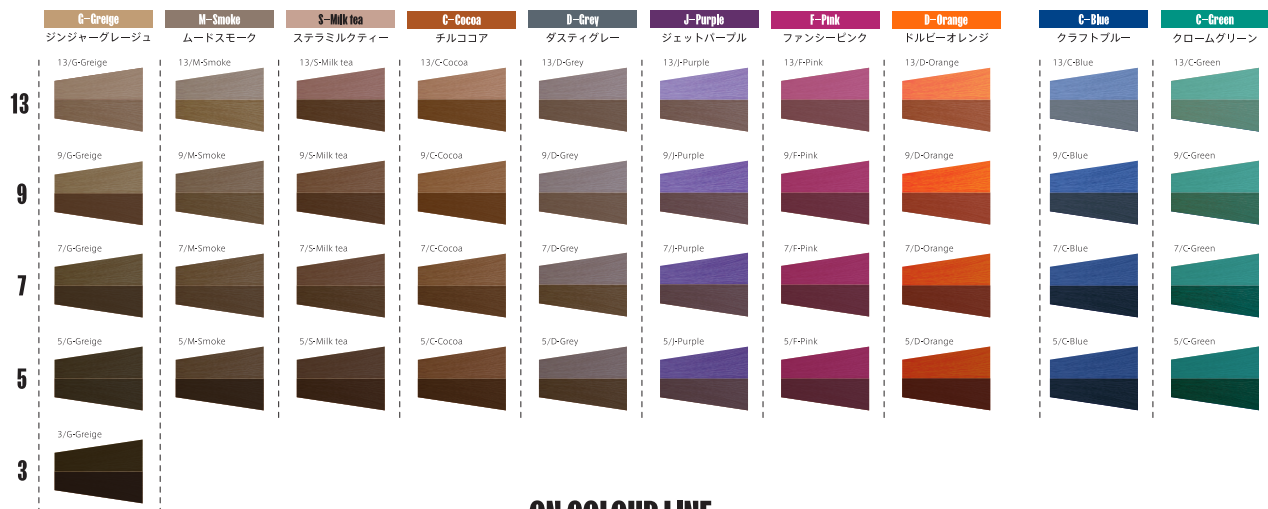
- ※3 クオタニウム-33【帯電防止】
- ※3 ステアロトリモニウムクロリド【帯電防止】



\*1 加水分解コンキオリン【真珠由来・毛髪補修】、加水分解セラチン【羊毛】、毛髪補修、(加水分解シルク/FGプロピルメチルシランジオール)クロスポリマー【ツヤ付与】

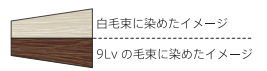
\*2 当社従来品染毛料比較

## BASIC LINE (アルカリカラー / 医薬部外品)

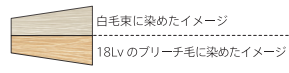


カラー剤使用量の目安		
1 剤使用量	2 剤使用量	合計
60g	120mL	180g
50g	100mL	150g
40g	80mL	120g
30g	60mL	90g
20g	40mL	60g
10g	20mL	30g

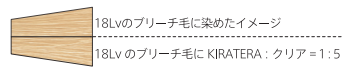
### BASIC LINE (アルカリカラー)



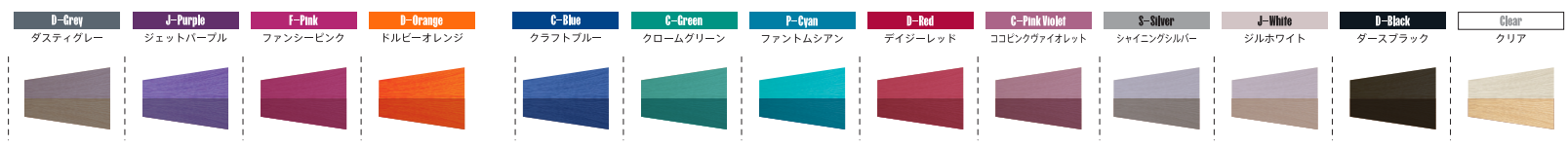
### ON COLOUR LINE (低アルカリカラー)



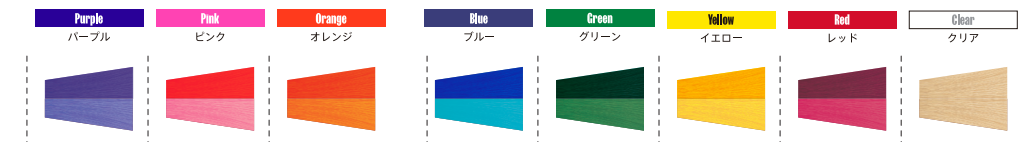
### ACCENT LINE (塩基性カラー)



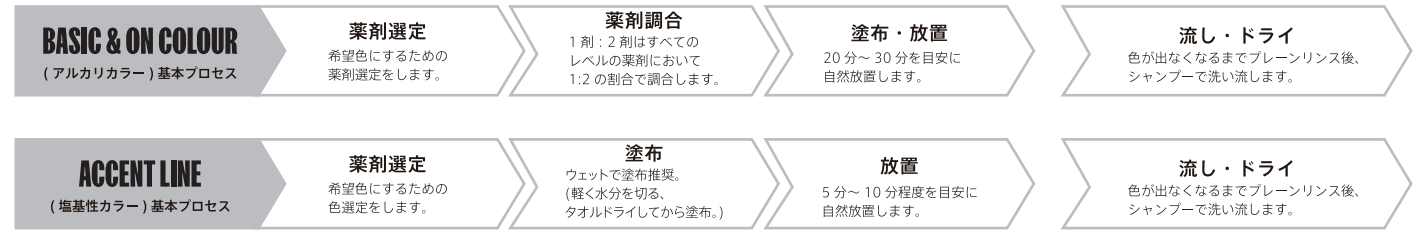
## ON COLOUR LINE (低アルカリカラー / 医薬部外品)



## ACCENT LINE (塩基性カラー / 化粧品)



## BASIC PROCESS



※実際の染め上がりの色は、地毛によって異なります。  
 【ご注意】  
 ご使用の際は、使用上の注意をよく読んで正しくお使いください。  
 ご使用前には、毎回必ず皮膚アレルギー試験（パッチテスト）を行ってください。  
 今までにヘアカラーでかぶれたことのある方には、絶対に使用しないでください。

## BASIC LINE

色相名称・特長・染料構成

<i>Ginger Graze</i> ジンジャーグレージュ	灰みのあるニュートラルグレージュ	
<i>Mood Smoke</i> ムードスモーク	灰みがかったスモーキーなブラウングレー	
<i>Stella Milk tea</i> ステラミルクティー	まろやかなミルクティーベージュ	
<i>Chill Cocoa</i> チルココア	温かみのある落ち着いたココアブラウン	
<i>Dusty Grey</i> ダスティグレー	マットみを抑えた透明感グレー	
<i>Jet Purple</i> ジェットパープル	艶感を与える赤み寄りのパープル	
<i>Fancy Pink</i> ファンシーピンク	かすかな紫みを感じるファンシーなピンク	
<i>Dolby Orange</i> ドルビーオレンジ	強烈彩度のビビッドオレンジ	
<i>Craft Blue</i> クラフトブルー	アンダーを描き変える濃厚ブルー	
<i>Chrome Green</i> クロームグリーン	強烈彩度のビビッドグリーン	

■黒褐色系 ■灰緑褐色系 ■黄茶色系 ■青色系 ■灰青紫色系 ■緑色系 ■赤色系 ■淡赤色系 ■赤紫色系 ■黄橙色系 ■黄色系 ※染料構成比は平均染料構成です。

## 1剤の明度別のブリーチ力と仕上がり明度について

使用薬剤明度	ブリーチ力	仕上がり明度
13	14.5Lv 程度	13Lv
9	10.5Lv 程度	9Lv
7	8.5Lv 程度	7Lv
5	6Lv 程度	5Lv
3	4Lv 程度	3Lv

ヘアカラー剤（1剤）は明度が上がるほど薬剤に含まれるアルカリ剤は多くなります。そのため、明度が低いほどブリーチ力は小さく、明度が高くなるほどブリーチ力は大きくなります。

## ON COLOUR LINE

色相名称・特長・染料構成・染料濃度

<i>Dusty Grey</i> ダスティグレー	オンカラー専用のマットみを抑えた透明感グレー		9Lv相当
<i>Jet Purple</i> ジェットパープル	オンカラー専用の赤み寄りのパープル		9Lv相当
<i>Fancy Pink</i> ファンシーピンク	オンカラー専用のかすかな紫みを感じるピンク		9Lv相当
<i>Dolby Orange</i> ドルビーオレンジ	オンカラー専用のビビッドオレンジ		9Lv相当
<i>Craft Blue</i> クラフトブルー	オンカラー専用の濃厚ブルー		9Lv相当
<i>Chrome Green</i> クロームグリーン	オンカラー専用のビビッドグリーン		9Lv相当
<i>Phantom Cyan</i> ファントムシアン	オンカラー専用の幻想的なシアン		9Lv相当
<i>Daisy Red</i> デイジーレッド	オンカラー専用のビュアレッド		9Lv相当
<i>Coco Pink Violet</i> ココピンクヴァイオレット	くすみのあるピンクヴァイオレット		9Lv相当
<i>Shining Silver</i> シャイニングシルバー	ブリーチ毛を描き変える艶をまとうシルバー		13Lv相当
<i>Sil White</i> シルホワイト	ブリーチ毛を描き変える透き通る白		13Lv相当
<i>Dark Black</i> ダースブラック	褪せも黒を維持したまま抜ける深淵の黒		3Lv相当
<i>Clear</i> クリア	染料無配合の大容量クリア		-

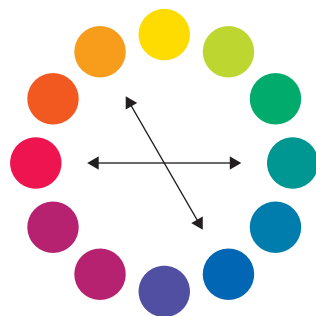
※ON COLOUR LINE のブリーチ力はすべて 6Lv 設計です。

※DG、JP、FP、DO、CB、CG は BASIC LINE の 9Lv と同等の彩度感です。

# UNDER CONTROL

## 補色とは

色相環上で正反対に位置する色のことを「補色」といいます。  
この正反対の位置関係にある色同士を「補色の関係」といいます。  
赤の補色は青緑、青の補色は黄みの橙になります。



### 低明度～中明度アンダー

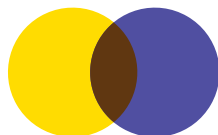
赤～オレンジのアンダーを打ち消すとき



クロームグリーン (CG)、クラフトブルー (CB) で打ち消す。

### 高明度アンダー

イエローアンダーを打ち消すとき



ジェットパープル (JP) で打ち消す。

## アンダーに合わせた補色選定



### アンダーにオレンジを感じる場合

*Craft Blue* *Chrome Green*

赤みやオレンジみを消したいとき

### アンダーにイエローを感じる場合

*Jet Purple* *Fancy Pink* *Coco Pink Violet*

黄みを抑えて無彩色～暖色にしたいとき

*Dolby Orange*

寒色系の残留がある状態で  
無彩色～暖色にしたいとき

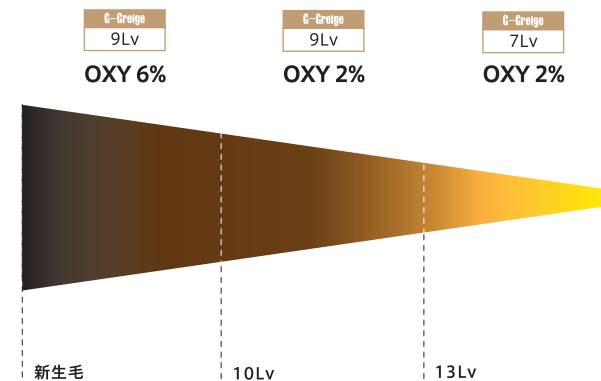
# TONE DOWN

単位：Lv

現在の明度 希望の明度	13	12	11	10	9	8	7
13							
12	(10)						
11	9	9					
10	(8)	(8)	(10)				
9	7	7	9	9			
8	(6)	(6)	(8)	(8)	(8)		
7	5	5	7	7	7	7	
6	(4)	(4)	(6)	(6)	(6)	(6)	(6)
5	3	3	5	5	5	5	5

※ 髪質、求める色み、ダメージ度合いにより仕上がりに誤差が生じる場合がございます。

## CASE 9Lvのベースに揃える場合



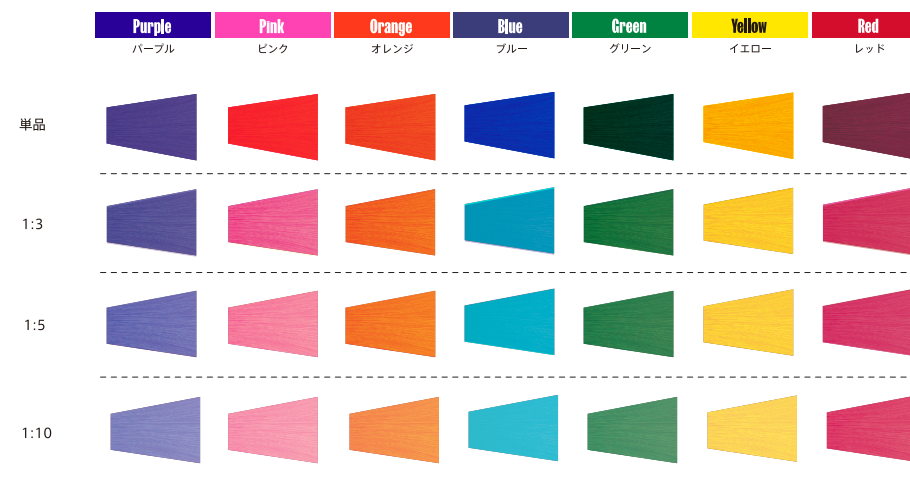
基本のトーンダウンの考え方で薬剤選定をし、ベースの明るさを調整します。

## ACCENT LINE

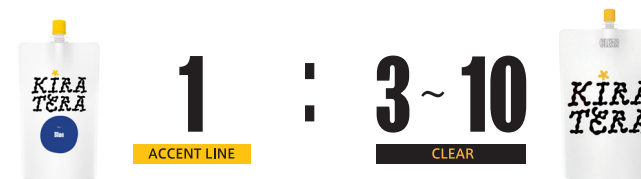
色相名称・特長・染料構成

<i>Purple</i> パープル	蛍光感のあるピュアパープル	
<i>Pink</i> ピンク	蛍光感のあるピュアピンク	
<i>Orange</i> オレンジ	蛍光感のあるピュアオレンジ	
<i>Blue</i> ブルー	蛍光感のあるピュアブルー	
<i>Green</i> グリーン	蛍光感のあるピュアグリーン	
<i>Yellow</i> イエロー	蛍光感のあるピュアイエロー	
<i>Red</i> レッド	蛍光感のあるピュアレッド	
<i>Clear</i> クリア	髪をいたわるトリートメントタイプのクリア	

## CLEAR MIX



※18Lvのブリーチ毛を染めたイメージです。



アンダーレベルやダメージレベル、目指す仕上がりに合わせてクリア比率を調整します。

### ACCENT LINE単品の場合

BEFORE

アンダーにダメージムラがある状態



AFTER

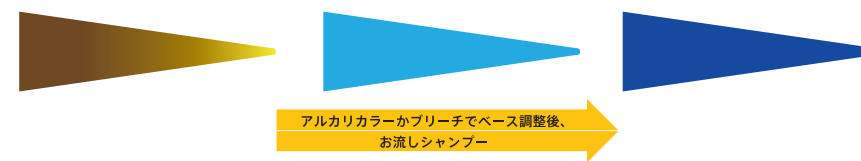
均一な仕上がりにしやすい

ブリーチアンダーのダメージムラが多い場合は、ダメージ部分ほど濃く色が入るので毛先はクリアで薄めて塗分ける。

### BASIC LINE(アルカリカラー)と併用する場合

BEFORE

アンダーに色ムラがある状態



AFTER

塩基性カラーで彩度をプラス

ブリーチアンダーに色ムラがある場合は、アルカリカラーやブリーチ (or 脱染剤) でベースを整えた後に ACCENT LINE で仕上げる。